Web ブラウザの設定 Windows Vista+ IE7 編

2008/3/17版

情報企画室情報班ネットワーク担当

Tel:2450

imr-net@imr.tohoku.ac.jp

新ネットワークとこれまでのネットワークで proxy 関係の設定変更が必要になります。 これについて以下に説明いたします。

Internet Explorer(IE)の設定変更

「ツール」→「インターネットオプション」を開く

| 🕢 🗸 🙋 about:blank | • | 4 | × | Google | ۰ ۾ |
|--------------------------------|--------------------------------|---|---|-----------------------|-------------------------|
| ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) 💙 | | | | | |
| Google G- ≹ ka ♦ 8 | 閲覧の履歴の削除(D) | | | コック数:0 <mark>ン</mark> | ◎ 設定▼ |
| 😭 🏟 🏉 空白のページ | 接続の問題を診断(C) | | | • ▼ 🔂 ページ(P) ▼ | ③ ツール(0) ▼ [≫] |
| | ポップアップ ブロック(P) | | • | | * |
| | フィッシンク詐欺検出機能(H) アドオンの管理(A) | | + | | |
| | このフィードの購読(F) | | | | |
| | フィード探索(E) Windows Update(U) | | • | | |
| | OneNote に送る | | | | |
| | Sun の Java コンソール | | | | |
| | インターネット オプション(0) |) | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

- (2) 「インターネットオプション」の「接続」タブを選択
- (3) 「LAN の設定」を押す

| インターネット オプション | ? 🔀 |
|--|---------------------|
| 全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラ, | ム 詳細設定 |
| インターネット接続を設定するには、 [セットアップ] をクリックしてください。 | セットアップ(山) |
| ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定 | |
| | 道加(<u>D</u>) |
| | VPN の追加(<u>P</u>) |
| | |
| プロキシ サーバーを構成する必要がある場合は、 [設定] を選択してください。 | 設定(S) |
| ◎ ダイヤルしない(C) ○ ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする()M | |
| ● 通常の接続でダイヤルする(<u>○</u>) | |
| 現在の既定値になし | 既定(2設定(E) |
| ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定 | |
| LAN の設定はダイヤルアップ接続には適用されません。ダイ ヤルアップには上の設定を選択してください。 | LAN の設定(L) |
| | |
| | |
| OK ** | ンセル 適用(<u>A</u>) |

(4) ローカルエリアエリアネットワーク(LAN)の設定

・自動構成スクリプトを使用するにチェックをチェックします。

・「アドレス」に「http://proxy.imr.tohoku.ac.jp/proxy.pac」を入力します

自動構成スクリプトを提供するサーバ上の proxy.pac ファイルの中で 必要な設定を行っています。

| ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定 |
|---|
| 自動構成 自動構成にすると、手動による設定事項を <u>上書</u> きする場合があります。手動による 設定事項を確保するには、自動構成を使用不可にしてください。 |
| 設定を自動的に検出する(A) 何自動構成スクリプトを使用する(S) アドレス(B): http://proxy.imr.tohoku.ac.jp/proxy.pac |
| プロキシ サーバー ■ LAN にプロキシ サーバーを使用する (これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません)(X) |
| アドレス(E): proxy.imr.tohoku.ar ボート(T): 8080 詳細設定(C) |
| OK キャンセル |

proxy.pac を読み込む設定を行った場合は、金研内で使用している プライベート IP アドレス(10.1.x.x、172.16.x.x、172.20.x.x)は全て、 直接アクセス可に設定されます 事情があり、プロキシーサーバを手動で設定している場合は

| ローカル エリア ネ 自動構成 | ットワーク (LAN) の設定 | • |
|----------------------|--|----------|
| 目動構成にすると 設定事項を確保す | 、手動による設定事項を上書きする場合があります。手動によ するには、自動構成を使用不可にしてくだざい。 | ବ |
| 📃 設定を自動的 | に検出する(<u>A</u>) | |
| 📃 自動構成スク | リプトを使用する(<u>S</u>) | |
| アドレス(<u>B</u>): | http://proxy.imr.tohoku.ac.jp/proxy.pac | |
| プロキシ サーバー | | |
| ■LAN にプロキシ 接続には適用 | › サーバーを使用する(これらの設定はダイヤルアップまたは VP されません)(X) | N |
| アドレス(<u>E</u>): | proxy.imr.tohoku.a ポート(工): 8080 詳細設定() | \odot |
| 図 ローカル 7 | 7ドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(<u>B</u>) | |
| | | |
| | OK キャンセ、 | n) |
| | | |

・「ローカルアドレスにはプロキシーサーバを使用しない」にチェックをいれます。

・「アドレス」に「proxy.imr.tohoku.ac.jp」、ポートに「8080」を入力します

次に「詳細設定」を押します。

| | 種類 | 使用するプロキシのアドレス | | ポート |
|---------|---|--|-------------------------|------|
| | HTTP(<u>H</u>): | proxy.imr.tohoku.ac.jp | : | 8080 |
| | Secure(<u>S</u>): | proxy.imr.tohoku.ac.jp | : | 8080 |
| | FTP(<u>F</u>): | proxy.imr.tohoku.ac.jp | : | 8080 |
| | | | | |
| | Socks(<u>C</u>): I বিশ্যেক্রি | ロトコルに同じプロキシ サーバーを使用 | । विवेद्य(ग्र) | |
| 外 【二 | Socks(<u>C</u>): マ すべてのう 次で始まるア | クロトコルに同じプロキシ サーバーを使用 ドレスにはプロキシを使用しない(<u>N</u>): | :]]चे <u>ठ(U)</u>) | |
| M 1 | Socks(<u>C</u>): マラベての 次で始まるア mail.imr.toh cmsmail.imr | /ロトコルに同じプロキシ サーバーを使用 ドレスにはプロキシを使用しない(N): oku.ac.jp; rtohoku.ac.jp | : 月する(<u>U</u>) | |

<u>例外に「mail.imr.tohoku.ac.jp」を追加</u>してください。

ただし、現時点で書かれているものは必要があって書かれているものです。 消してしまうと、アクセスできないサーバが出てきます。ご注意ください

ただし、<u>これは金研内部から金研のプロクシーサーバを使用する場合の設定</u>です。 自宅や出張先からの利用の場合は、プロクシーサーバの利用は、各自が契約している プロバイダのマニュアルに従ってください。

特に、普段金研内でご使用中のノートパソコンをご自宅や出張先などにお持ちになった場合、proxy 関係の設定はその都度変更しないとアクセスできないサーバが出てきますので、 ご注意ください。